



UEDA WEST

WEEKLY REPORT 《例会を楽しく、笑顔で集まろう》

上田西ロータリークラブ

RID2600 東信第2グループ 創立 1990.6.16

会長 / 横沢 宏和

幹事 / 山口 長武

例会/ 毎週木曜日 12時30分～13時30分

事務局/ 上田商工会議所

会場/ 上田東急REIホテル

〒386-0024 上田市大手 1-10-22

〒386-0025 上田市天神 4-24-1

TEL : 0268-26-3900

TEL : 0268-24-1401

FAX : 0268-22-3141

E-mail/ uedawest@ceres.ocn.ne.jp

<http://www.uedawest-rc.jp/>

青少年奉仕月間

2025年 5月 15日 35期 第1563回

『ロータリーと私』

社会奉仕委員：久保田 修二



皆さんこんにちは、本日は貴重なお時間を頂きまして卓話をさせて頂きます。ほぼ十ヶ月あまりチャーターメンバーの35年間の殆どの方が貴重なお話をして頂きましたので、お話しすることはありませんし、同じようなお話を繰り返し聞いても面白くもないと思います。今日はオムニバス形式でテーマを4つのお話をしようと思います。

①は卓話の時の私自身で気をつけていること。②は紛争解決機関で26年間係わってきた訳ですがその間、印象に残る話や人。③新年会でもお話させて頂きました人口減少問題について。④最後はここ1年間ガバナー補佐を務めさせて頂きましたがその間に感じたことの4つです。独善と偏見に基づいてお話ししますことをお断りしておきます。

①の卓話についてですが、卓話はロータリークラブでは本来、例会出席者は卓話を通し日頃接することが出来ない他業種の方々からの話を聴くことができ、自身の視野の広がりにもつながることを目的にしています。これが本来の卓話の趣旨ということです。私の個人的な卓話の時気をつけていることをお話ししますと、お忙しい方が大勢集まり20分～30分時間を頂きお話させて頂く訳ですから聞いている方がああ時間の無駄だったということにならないよう卓話する場合に気をつけていることが4つあります。(イ)一つでも二つでも新たな情報ないし事実をお伝えする。そのためにある程度前から準備します。(ロ)お話しする情報や内容が客観的かどうか確認する(事実を確認国会図書館)。(ハ)自分の考え感想をお話しする場合、色々なお立場の人が聞いているわけですから、できるだけ抑制的にお伝えする。建前上、ロータリークラブで

は、自分を虐げたり、人を見下したりする行為は相手に敬意を払う奉仕の精神に反するとなっています。会社の従業員を前にするとは大分違います。余りすぎると、場合によっては、前頭葉の機能低下かと心配される方がいらっしゃるかもしれません。その方がそうであっても全然かまわないわけです。基本的には何をしゃべってもいいわけです。しかし、よく言われることですが、人間関係で大切なことは余計な一言を言わないこと。私も思ったことをすぐ口にするため、後で反省するのですが、吐いた言葉は取り消せない、何を言うかが知性で、何を言わないかが品性である。問題なのはクラブの品格が揺らぐということです。(二)会場の雰囲気壊さないということも心がけています。これに逸脱する卓話はこのクラブではなかったと思います。

②紛争解決の場での経験から印象に残ったワードや人のことです(イ)事実認定(ロ)情報の共有化(ハ)噂を気にする人(ニ)怒りのマグマを持っている人。この4つが主に印象に残りました。(イ)の事実認定は大変難しい話で、ファクトチェックより深い意味を持つもので、その背景とか事情が絡む物で、その都度真摯に向き合って努力するものです。深掘りすると、きりがないのでケースバイケース(ロ)の情報の共有化も難しいですが、1つの問題に対し人は意外と自分の持っている情報と同じ情報を相手も持っていると思っていて、それを前提としてその結論になるのはおかしいと思う場合がありますが、必ずしも相手が同じ情報を持っているとは限らず。それぞれ異なる情報を持っている場合が往々にしてあります。例えば極端ですが、片方の言ってることがイメージとして夏の海を思い起こし、もう一方の言ってることをイメージすると冬の山の景色が浮かぶという場合があります、それぞれの情報を時間をかけて共有化す

ることにより春の景色ないし秋の景色を両者が持つようになるといったことにより、解決に近づくといった場合もありました。(ハ) 噂を極端に気にする人という方もいますが、人は自分のことで手一杯でそんなに暇ではない。

(ニ) 怒りのマグマを持っている人。こういった方は攻撃的です。しかも、攻撃の置き換えをしてくる。例えば、会社でのストレスを妻に、学校での怒りが母親にといった場合です。最初にその「攻撃性の置き換え」について考えてみると、上司と勝負出来ないと言う真実の問題から自分を守ってくれるのが、妻への非難である。憎むことが危険な人への憎しみは、憎んで危険のない人への憎しみに置き換えられる。攻撃性の置き換えによって自分の心の問題から逃げていられる限り、本当の攻撃の対象には立ち向かわないですむ。どの様なトラブルであっても、どの様な怒りであっても「この問題の核心は何か？」と言うことをつかまなければ真の解決にはならない。心理的に楽をしたいから、あえて本当の憎しみの対象を見ないで、別の人に攻撃性の置き換えをする「置き換え」とはある受け入れがたい感情、欲求をより受け入れやすい関連のある対象に振り向けることである。偏見は攻撃性の置き換えである。怒りの対象となる事象に比べその程度の度が過ぎる場合、その怒りの基は何だろうと考えます。一面的では有りますが、その場合、a 自分自身の生い立ちに関わる自分自身への怒り b 自分の親族ないし近親者に対する不満からの怒り c 仕事自体ないし、その関係者への怒り d 社会に対する怒り e その他 を疑ってみます。話し合いの過程でその原因らしき事が分かると解決の糸口が見えてきます。他人にいらだちを感じるときは、自分について知る良い機会です。

③新年会でお話しました阿部知事のお話から人口減少の話。その前に日本全体の話をしたいと思います。

長野県の人口、長野県の人口は、2001 年の約 222 万人をピークに減少を続けており、2024 年 2 月に 200 万人を 下回った。このままの状況が続くと、2050 年には 160 万人以下、2100 年には 80 万人以下まで減少する見通しです。国立社会保障人口問題研究所によりますと 70.1 万人となっています。私が数年前に確認したときは 74 万人となっていましたので、その間で下振れしたということです。人口が 35%になるということは各市町村の税収も単純にいうと 35%となることであり、

こうなりますと、当然のことながら市域全体のインフラの維持は困難にもなります。2100 年といいますと遠い未来のような気がしますが、小学校入学前の子や孫が 75 才から 80 才程度になる時です。その間、ソフト、ハードの画期的イノベーションが起こらない限り、現在お住みのところで蛇口をひねっても水が出ないという所も多く出てくる事態になりかねません。水は人が生きる上での生命線です。ロータリーはドミニカ共和国の水も大切ですが、子や孫のための「未来の水」はもっと重要です。ロータリー全体が地元回帰へと舵を切りつつある現状を踏まえ、今後はこのようなことにも、それぞれ職業的スキルやアイデアを生かし、積極的に関与していくことも重要だと考えています。

行政の対応としては、立地適正化計画の区域は、都市計画区域内でなければならないが、また、立地適正化計画には、居住誘導区域と都市機能誘導区域の双方を定めるとともに、原則として居住誘導区域の中に都市機能誘導区域を定めることが必要。立地の適正化に関する基本的な方針。

④最後はここ 1 年間ガバナー補佐を務めさせて頂きましたがその間に感じたことについてです。最初に申し上げておきますが、現在のガバナー及びパストガバナー、地区事務局も大変なご尽力を頂いております。地区も各クラブもこれらの方がいないと回りません。感謝しております。国際ロータリーが来年度からテーマはやめる徽章も新たに作らない。各クラブが 3years-rolling-Goals、戦略経営委員会を作るということを考慮すると、最初は何のことだろう思っていました。今では明らかに地元回帰という流れだと思います。各クラブの主体的活動を重視し、地域、地元の自治体と協力し、奉仕活動を推進することだと思っています。伊藤パストガバナーは国際ロータリーと各クラブは直接の関係にあると言っておられました。そのため国際ロータリーも理念は示すが、各クラブの継続あるいは新規事業を尊重し、一方ではポリオ、平和活動、米山奨学生、交換留学生、DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) といった活動あるいは理念を柱に、地元に参加するロータリーということで社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕といった事業を展開し、公共イメージの向上を図っていくことがこれからのロータリーのあり方だと思います。

例会日誌

◆司会

委員長：宮下康嗣

◆点鐘

会長：横沢宏和

◆斉唱

「我らの生業」

◆会長挨拶

会長：横沢宏和

皆さんこんにちは。5月も丁度半ばになりまして、私の会長任期もいよいよ残り1か月半となりました。振り返ると、これまで34回例会等で、会長あいさつをさせて頂きましたが、毎回どんな話題にしようか悩むところで、歴代会長の皆さん、苦勞されたのではないかと思います。ところが、聴く側にしてみると、これ「ロータリーあるある」だと思いますが、案外注目していない、聞いていない、印象に残らないものなんですよね。後から感想など頂けるととっても嬉しいものなんですけど・・・。

さて、そこで、今日は思い切って、落語の嘶風に行ってみたいと思います。

ある日、例会が終わったあと、いつもの茶屋でご隠居と若旦那が一服しておりまして。若旦那が言います。「ご隠居、ロータリーってのは不思議なもんですねえ。毎週こうして集まって、昼めし食べて、歌うたって。いったい何のためにやってるんで？」するとご隠居、ニヤリと笑って、「そりゃ若えの、お前さんは、まだまだ青いやな。ロータリーってのは、人と人の情けをつなぐ場所よ。金や物は使えば減るが、人の情けちゅうもんは、使えば使うほど増えていく。お天道様と同じでな、出し惜しみなんかするもんじゃねえよ」「へえ～なるほど。でも情けなんて目に見えねえし、重さも量れやしませんぜ」、「そこが粋ってもんさ。見えねえもんを大事にするのが、人の世の粋ってやつだ。困ったときにそっと手を差し伸べる。相手が何も言わなくなつて、笑顔でいられる。そんな粋な連中が集まるのが、ロータリーってもんさ」。さらに若旦那、ちょっと考えまして、「でもご隠居、同じ顔ぶれで、同じように集まってたら、飽きませんか？」「若えの、桜は毎年咲くが、その年その年で花の色も香りも違うってもんよ。同じ例会に見えても、その日の話し、その日の出会い、その時の笑顔は一度きりだあな。それを味わえなきゃ、粋な大人とは言えねえよ」「なるほどなあ。じゃあ、これからも毎週、腹を空かせて例会に顔を出すことにします」「おう、それがいい。それにな、情けと笑顔は腹いっぱい食っても太らねえしな」なんて会話がございまして。

というわけで、本日もみなさん、情けいっぱい、笑顔いっぱい、腹いっぱい、存分に味わって頂き、楽しい例会となりますように。

◆幹事報告

幹事：山口長武

①R米山記念奨学会より

「ハイライトよねやま302」



②地区より

- ・「先刻インターアクト研究会長野会議」お礼
- ・2025-26年度長期青少年交換派遣学生募集要項

◆出席報告

委員長：宮下康嗣

本日	出席	25名	71.43%
	欠席	10名	(ベース35名)



◆ニコニコBOX

委員長：今井貴美

池田友紀	今井貴美	大井定雄
久保田修二	佐藤利幸	下形眞生
竹原健二	田邊寛樹	土屋 準
寺島秀則	成田守夫	西田不折
宮下康嗣	宮本文明	山口長武
横沢宏和		計18名

箱山繁徳
山寄信幸

前	回	1,024,000円
今	回	30,000円
累	計	1,054,000円

～ ニコニコメッセージ ～

- ・本日、卓話させて頂きます。お休み下さい。
久保田修二
- ・日曜日の5クラブゴルフコンペ頑張りました！
田邊寛樹
- ・卓話「ロータリーと私」シリーズ最終回、久保田修二さん、宜しくお願い致します。
寺島秀則
- ・今井さんに5/12お世話になりました。
成田守夫
- ・玄米相場、また値上がりしました。新潟こし60kg
5万円以上になってます。
箱山繁徳

◆お知らせ

- 創立35周年記念例会について
実行委員長 宮本文明



◆点鐘

会長：横沢宏和



— 会場・出席・会報委員：手塚大輔 —

事務局執務時間 月曜日～金曜日 午前9：30～午後4：00 土・日・祭日 休み

* 例会欠席連絡のお願い・・・例会前日までにご連絡下さい TEL:26-3900 FAX:22-3141